

本製品を正しくご使用いただくために、本書の指示に従ってセットアップを完了してください。

ご用意いただくもの

☐ 有線LANポート内蔵Windows10のパソコン

☐ スイッチング・ハブ

☐ LANケーブル

☐ KPWL SE TOOLS ソフトウェア

※詳細はシステム構成機器詳細を参照

手順の確認

STEP1

パソコンの設定確認と記録

STEP2

機器の接続

STEP3

KPWL SE TOOLS の準備

STEP4

設定ファイルの作成

STEP5

KPWL SE TOOLS の起動とEXCEL設定

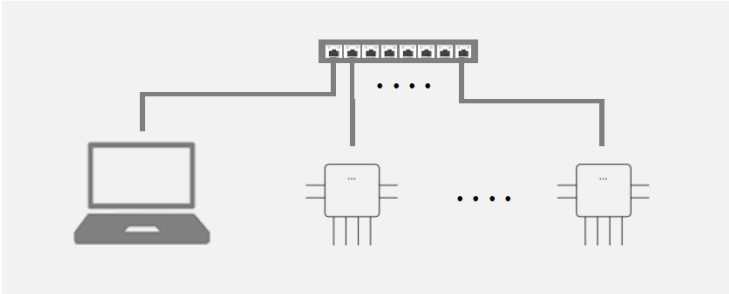
STEP1 パソコンの設定確認と記録

- ☐ パソコンの有線LANポートを設定してください。
- 本ソフトウェアはパソコンの**有線 LAN ポート**の設定が必要です。
- ・IPv4設定について：ご使用のネットワークに合わせて設定してください。

・IPv6設定について：「KPWL-0300Hユーザーズマニュアル」の「IPv6アドレスによるアクセス」を参照ください。

STEP2 機器の接続

- ☐ パソコンと設定対象のKPWL-0300Hをスイッチング・ハブに有線LANケーブルで接続してください。



(注意1) KPWL-0300Hには有線LANポートが二つあります。中心にあるLINK2ポートに接続してください。

STEP3 KPWL SE TOOLS （ソフトウェア）の準備

- ☐ パソコン上に KPWL SE TOOLS を展開します。
- ① Kpnetworksホームページ (https://kpnetworks.jp/IP/support) へアクセスします。「ソフトウェア」欄の「Kpnetworks KPWL SeTool（製品初回一括設定ツール）Windows10アプリ版」をダブル・クリックします。

② ダウンロードしたファイルを解凍して以下の2つのファイルが在ることを確認してください。（xxxxはバージョン番号）

a. Kpnetworks_KPWL_SeTool_vxxxx.exe

b. Kpnetworks_KPWL_SeTool_vxxxx_setting_file_sample.xlsm

STEP4 設定ファイルの作成

- ☐ KPWL-0300H_設定ファイル_sample.xlsmを基に設定ファイルを作成します。
- ① KPWL-0300H_設定ファイル_sample.xlsmはMicrosoft Excelのマクロファイルで2016以降のバージョンが必要です。

② 設定項目は必ずマクロを有効に行ってください。また左側の設定によっては選択できない項目もありますので、**設定は必ず左側から**行ってください。

KPWL SE TOOLはKPWL-0250とKPWL-0300Hを複数同時に設定できる設定ツールです。

システム構成機器詳細

- ☐ 有線LANポート内蔵Windows10のパソコン

：Core i5以上のCPUを推奨
- ☐ スイッチング・ハブ

：設定対象のKPWL-0300H及びパソコンとの接続に必要なポート数が必要
- ☐ LANケーブル

：設定対象のKPWL-0300H及びパソコンとの接続に必要な数量が必要

STEP4 設定ファイルの作成（続き）

- ③ KPWL-0300H_設定ファイル_sample.xlsmをダブルクリックすると以下3種類のシートがあるワークブックが開きます。
- ・チャンネルリスト（ネットワーク,各アクセスポイントの設定）

・SSID設定（2.4GHz用）とSSID設定5G（5GHz用）があります。

・スケジューラ設定



- ③ チャンネルリスト・シートの設定

a. 5行目以降に設定対象のKPWL-0300Hを登録します。5行目以降をコピー・ペーストして必要台数分の設置行を作成ください。

b. コピーする際は最左端の行番後を選択して右クリックでコピーを選択してください。

c. ペーストするときは上記でコピーした状態でペーストしたい行番号を選択して右クリックで「貼り付け（P）」を選択してください。

d. それぞれの行の「SERIAL」欄に設定対象のシリアルコードを半角大文字で記入してください。

e. IPアドレス設定」,「ワイヤレスバックホール基本設定」,「5GHz基本設定」,「2.4GHz基本設定」,「管理の各欄をそれぞれ設定してユーザID,パスワード,タイムサーバを設定してください。

⑤ SSID設定・シートの設定

a. SSID設定シートはチャンネルリスト・シートから参照します。設定対象のKPWL-0300Hやチャンネル毎に個別のSSID設定が必要な場合は本シートをコピー＆ペーストして必要数を作成ください。

b. コピーする際はシートネームを右クリックして「移動またはコピー」を選択して、「コピーを作成する」にチェックを入れて「OK」をクリックしてください。

c. シート名には必ず名前に「SSID設定」の文字を入れてください。

d. SSIDは2.4GHz,5GHzそれぞれ16個まで設定可能です。SSIDを増やす場合は6行目以降をコピー・ペーストして必要数を作成してください。

e. コピーする際は最左端の行番後を選択して右クリックでコピーを選択してください。

f. ペーストするときは上記a.でコピーした状態でペーストしたい行番号を選択して右クリックで「貼り付け（P）」を選択してください。

⑥ SCHEDULE設定・シートの設定

a. **SCHEDULE機能はKPWL-0300H専用の機能です。**KPWL-0250には設定できません。

b. SCHEDULE設定シートはSSID設定シートから参照します。対象のSSID毎に設定可能です。

c. シート名には必ず名前に「SCHEDULE」の文字を入れてください。

d. SCHEDULE設定シートではSSIDの無効（接続できない）時間を設定します。

e. 4行目以降の1行で、SSID無効にする「曜日」及び「開始時間」「終了時間」を設定します。

⑦ 設定が完了したら任意のファイルネームでsaveしてください。ただし

⑧ ファイル拡張子の変更しないでください。
- STEP5 KPWL SE TOOL の起動とEXCEL 設定
- ☐ SE TOOL（Kpnetworks_KPWL_SeTool_vxxxx.exe）を起動します。

① まず設定対象のKPWL-0300Hを工場出荷状態にしてください。設定方法は「KPWL-0300Hユーザーズマニュアル」を参照ください。

② Google Chrome等のWebブラウザが起動している場合は全て閉じてください。

③ SE TOOLのUI（ユーザ・インターフェース）はGoogle Chromeを想定しています。Windowsの「既定のアプリ」設定でGoogleChromeを「Webブラウザ」に選択してください。

④ SE TOOLを「ダブルクリック」して起動してください。起動すると「Webブラウザ」が開き「AP Finder（周辺AP探索）」が起動します。左サイド・メニューに「AP Finder, Reboot, EXCEL設定, 工場出荷状態に戻す, APスニファ, EXIT」の6つのメニューが現れたら周辺AP探査終了です。

⑤ 探査結果に設定対象のKPWL-0300Hのシリアルが表示されない場合はEXCEL設定できません。「再探査ボタン」で再探査することで表示される場合もあります。

⑥ 左メニューの「EXCEL設定」をクリックすると設定用のEXCELファイル選択画面に進みます。EXCELファイルを選択して「選択」ボタンをクリックしてください。

⑦ EXCEL設定ファイルに登録されたKPWL-0300Hが表示されます。対象のKPWL-0300Hを選択した後、「決定」ボタンをクリックすると選択したKPWL-0300Hのみが表示されます。選択に問題が無ければ「再確認」ボタンをクリックしてください。設定を開始します。

⑧ 設定時間は設定内容や電波環境にもよりますが5～10分程度です。設定が完了するとブラウザの上部中央付近に「設定完了」と表示されます。

⑨ **SCHEDULE機能の設定と解除はEXCEL設定でのみ可能です。**「Reboot」や「工場出荷状態」にしても解除できません。

⑩ 設定が完了すると左サイドに起動時と同様の6つメニューが表示されます。
- その他のメニューについて
- ① 「AP Finder」起動時と同様に周辺APを探査します。

② 「Reboot」選択したAPをReboot（リセット）します。

③ 「工場出荷状態に戻す」選択したAPを工場出荷状態に戻します。

④ 「APスニファ」選択したAPで周辺APが出していSSID毎のチャンネル、RSSI値を測定します。**測定中はAP機能が停止します**のでご注意ください。

⑤ 「EXIT」SE TOOLを終了します。
- お問い合わせ先
- ☐ メールでのお問い合わせ

info@kpnetworks.jp

☐ お電話でのお問い合わせ

029-846-0217
- NX000000735-01
2022.04
-